

岩手の風土記シリーズ（28） 『カッパ伝説を探る』

みなさんはカッパ（河童）についてどのくらい知っていますか？カッパは日本で生まれた妖怪で、日本全国にカッパ伝説が残されている。そもそも呼び名の「カッパ」は「かわ（川）」に「わらわ（童）」の変化形「わっぱ」が複合した「かわわっぱ」が変化したものとされる。そしてその知名度は芥川龍之介の小説「河童」で全国に知られるようになった。さらに水木しげるのマンガ「河童の三平」でその



【遠野駅のカッパ像】

名を確固たるものにした。しかし、カッパの由来は西日本と東日本とで大まかに分かれるようだ。西日本では河伯信仰（かはくしんこう；中国黄河の神様）による大陸からの渡来とされるが、東日本では陰陽師で有名な安倍晴明の式神説（しきがみせつ）や、日光東照宮の眠り猫で名工と言われた左甚五郎が仕事の補助役として造った人形が変じたものとされる説がある。さらに河童は、間引きされた子供の遺体が河原にさらされている姿との説もある。江戸時代には間引きは頻繁に行われており、他の子供に間引きを悟られないよう大人が作った嘘とも言われているようだ。またカッパ伝説には、人に悪さやいたずらするタイプと人の役に立つタイプがあるようだ。九州地方ではカッパ伝説が日本で一番多いらしい。そして九州各地のカッパ伝説では水神をイメージした、海、川、等の治水工事に関するものが多いという。いわゆる治水工事のプロフェッショナルとしての役割があったという話である。また、新潟県にはカッパが切られた腕を返してくれたお礼に、秘伝の薬のレシピを与え、今でも家宝として残っているという話もある。一方悪さの代表的な事例は尻子玉（人の魂）を抜いて人を殺したりするというものである。宮古地方に次のよう話がある。「閉伊川流域に二匹の兄弟カッパ住んでいて、お互いに手紙を頼んでは人を食べていた。ある時姉帯淵を一人の娘が通った時、人に化けたカッパが現れ御行の淵に行くのならこの手紙を持っていって欲しくないかと頼まれた、そして途中の淵で一人の坊さんにあって、経緯を話しその手紙を見せると、とんでもない内容であり、坊さんがその内容を書き換えてくれて、御行の淵に行くと手紙を渡すと、なんとお金をたくさんくれたという話で、その後この2匹は仲が険悪になったという事である」実は岩手でもカッパ伝承はやはりあちこちにあり、中でも遠野はそのメッカである。遠野を流れている津軽石川には多くのカッパが住んでいたという。しかし、カッパ目撃情報は遠野よりも岩泉町の小本川流域の方が多いらしく、一緒に子供と遊んだという事例が多いようだ。ところで、カッパの容姿は緑色であるのが一般的であるようだが、遠野郷では赤いカッパが一般的である。今回はこの遠野郷の赤いカッパ伝説を探るために、遠野を訪問した。いつも感じることだが、なぜか遠野に足を踏み入れた瞬間、異郷の地（隠り世（かくりよ）；妖怪の住む世界）に来たような気がするの、筆者だけであろうか？まずはJR遠野駅に来て、駅前の噴水池にあるカッパの像に挨拶してから、観光

案内所いき、念のためカップ捕獲許可証を購入してから、いざカップ淵方面へ探索に出かけた。カップ淵のある常堅寺というお寺を最初に訪ねることとした。このお寺には観光客用の駐車場がないため、伝承園近くの駐車場に車を止めて、徒歩5分位で常堅寺山門に着く。この「常堅寺」にまつわるカップ伝説は、その昔常堅寺が火事の時、淵に住むカップが火を消してくれたことから、時の住職がカップ狛犬を祀って感謝したと言われている。この寺には今でもカップの狛犬が祀られている。【常堅寺のカップ狛犬】



次はカップ淵のはなしである。「小鳥瀬川（こがらせがわ）の姥子淵（おばこぶち）辺りに新家という家があった。ある日淵へ馬を冷やしに行き、馬曳の子が遊びに行っている間に、カップが出てその馬を水の中に引き込もうとした。しかし馬の力が強く、馬に引きずられて厩の前まで来てしまった。カップは慌てて厩の中に隠れたが、見つかってしまい、村人達の協議の結果、今後村の馬に悪さをしないと約束させられて無罪放免となった。という話である。このカップ淵には、休日ともなると、カップ釣り名人が現地でカップを釣って案内をしてくれるという。さらにもう一つ「太郎淵」という遠野遺産に指定されているスポットがある。ここの伝説は「この辺りの淵に太郎という名のカップが住んでいて、洗濯等の水仕事をしに来る集落の女達を覗きに來ては、いつも悪さをして困ったという。又この淵の下流に、太郎カップに言いよる女カップが住んでいたと言われている。いまでも太郎淵、女ケ淵と言い二匹のカップが住むと言われる。」といものである。このように遠野のカップ達はちょっとしたしたいざら小僧で憎めない存在のように感じるのは筆者だけであろうか。遠野ではカップ捕獲許可証を



【カップ淵】

発行していて、1年間カップの捕獲を許可してくれることになっている。観光協会及び伝承館で販売していて、一枚300円で購入できる。そしてカップを無事に捕獲すると1000万円の賞金がでるとい。但し捕獲には条件があり、傷つけず生け捕りにすること、捕獲場所はカップ淵に限る、新鮮な野菜を使って捕獲する事などが記載されている。残念ながら今回はカップには会えず、捕獲もできなかったが、遠野の魅力が一杯の訪問であった。遠野にはまだまだ不思議な場所や言い伝えが数多くあるという。例えば、「ザシキワラシ」、「ザシキム



【太郎淵】



【カップ捕獲許可証】

スメ」、「ザシキババア」等興味深い話もある。これらについては、おいおい紹介できればと思う。

参考出典

深沢紅子・佐々木望編 日本の民話2 岩手の民話

NHKBS プレミアム 新日本風土記スペシャル 妖怪

NHKBS プレミアム 歴史探偵「妖怪大国ニッポン！」

NHKBS プレミアム 新日本風土記「妖怪の国、精霊の森」

NHKBS プレミアム 水木しげるの妖怪バンザイ！